

《 今日の主なニュース 》

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆下請法違反の勧告25年度39件、平成以降で最多 公取委が監督強化

・公正取引委員会は下請法(現・中小受託取引適正化法)違反で再発防止などを求める勧告を、2025年度に39件出したと発表。前年度から18件増え、平成以降で過去最多。政府は中小企業や小規模事業者の賃上げ環境の整備を重点課題に挙げる。立場が弱い事業者が価格転嫁をしやすくするため、公取委は取引関係の監視を強めている。

◆26年株主総会、経営に踏み込むアクティビスト「役員選解任」大幅増

・6月下旬にピークを迎える3月期決算企業の株主総会で、アクティビスト(物言う株主)などの機関投資家からの株主提案が2026年は139議案と過去最多を更新する見込み。取締役などの「役員選解任」、社外取締役の構成など「ガバナンス」に関する株主提案の増加が目立つ。アクティビストが経営に踏み込んで企業価値向上を促す動きが鮮明に。

◆50代の86%が「衰えを感じる」健康対策は「運動」が最多39%

・50代の86%が、30～40代だった頃に比べて衰えを感じていることが分かった。ヘルスケア事業などを手がけるピクシーダストテクノロジーズが調査。30～40代の頃と比べて衰えを感じるか聞いたところ、39%が「とても感じる」、47%が「やや感じる」と回答。衰えについて27%が「強く不安を感じる」、61%が「やや不安を感じる」と8割以上が不安を抱えていた。

《 業界ニュース 》

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆建設業倒産、5月153件 前年下回るも職別工事は増加—TDB集計

・帝国データバンクが発表した「全国企業倒産集計(2026年5月報)」によると、5月の建設業の倒産件数は153件(前年同月157件)で前年比2.5%減、全体(同771件、7.7%減)と同様に前年を下回った。ただし増勢は続いている。建設業全体では減少したものの、職別工事業は82件(32.3%増)、特に大工・内装などの職別工事の増加が目立った。

◆鉄スクラップ輸出価格、11カ月ぶり値下がり 6月の関東地区入札

・鉄スクラップ事業者でつくる関東鉄源協同組合が開いた6月契約分の輸出入札で、落札価格は1トン5万4506円となった。前月から96円(0.2%)下落した。値下がりりは11カ月ぶり。輸出の落札数量は2万トンで、バングラデシュ向けだった。新興国では前月までの活発な買い付けで在庫の確保が進んだとみられ、買い意欲がやや後退。

◆島忠、7月に一般向けエアコン設置講習 8万8000円で

・ニトリホールディングス傘下で家具チェーンの島忠は7月下旬、一般向けにエアコン施工講習を始める。座学と実技を組み合わせた講習で、エアコンの取り付け方などを体系的に学べる。講習は2日間で、受講料は8万8000円。島忠の与野研修センター(さいたま市)で実施する。未経験でも受講できるとしている。

《 注目商品 》

■ミラタップ 軽くて割れにくい樹脂製ドア

・軽量で割れにくい樹脂製の室内ドア「クアドロライト」を発売。重さは従来品の約1/3となる11.4kgで、動かしやすく割れにくいいため子どもや高齢者がいる世帯や、スペースの間仕切りにも適する。高さは1mm単位で最大H2700mmまでオーダー可能。



■エービーシー商会、上下2点固定の外装ルーバー

・通常の外装ルーバーは上下2点の固定で構造上の安全性を確保でき、裏面の中間支持材の取り付けが不要。嵌合タイプの専用背面材の使用により裏面の意匠性が向上。専用下地材を使用する「上下固定」と外壁に設置可能な「背面固定」の2タイプを用意。



■マグ・イソパール、熱伝導率「λ34」のグラスウール断熱材

・熱伝導率0.034W/(m・K)のグラスウール断熱材をラインナップ。24K品(密度24kg/m³)の熱伝導率を現行の「λ35」から「λ34」に高め、充填断熱の新たな標準とした。断熱性の高い開口部や付加断熱とあわせることで、GX志向型住宅水準の外皮仕様にも対応。

